

<b>科目コード</b>	63110	<b>授業科目</b>	疫学と保健統計Ⅱ Epidemiology and Health Statistics Ⅱ		<b>担当教員</b>	○新城 正紀	
<b>開講年次</b>	博士後期課程 1年次後期	<b>単位数</b>	2単位	<b>科目分類</b>	選択科目	<b>授業形態</b>	講義
<b>選択必修</b>	選択	<b>時間数</b>	30時間				
<b>授業概要</b>	ある特定の集団（地域、職域、学校などを含む）における健康に関連した状態や事象の関連要因と保健看護への疫学と統計学の応用を考究する。また、保健看護分野及び研究で用いられる統計手法に関して内外の文献を検討し、それらの妥当性及びデータ分析法を学習し、新しい看護学構築への疫学及び統計学の応用を考究する。						
<b>到達目標</b>	1.保健看護分野及び研究および学術論文で用いられる統計手法に関して理解、説明および活用できる。 2.自らの研究（特別研究Ⅱ）において疫学および統計手法を活用、応用できる。						
<b>回数</b>	<b>教育内容及び計画</b>					<b>担当者名</b>	
第1回	統計学の目的（検定と推定、仮説検定、P値とは）					新城 正紀	
第2回	医療統計学						
第3回	医療従事者のための統計手法（理論）						
第4回	医療従事者のための統計手法（応用）						
第5回	看護研究における統計学の応用						
第6回	データ分析の方法						
第7回	回帰分析と相関係数						
第8回	多変量解析（重回帰分析とロジスティック回帰分析）						
第9回	多変量解析（主成分分析と因子分析）						
第10回	保健看護研究における統計手法の文献検討						
第11回	保健看護研究における疫学手法の文献検討						
第12回	EBM 実践のための臨床疫学						
第13回	保健看護研究における疫学の応用						
第14回	社会疫学						
第15回	討議およびレポート課題						
<b>テキスト</b>	関連資料、文献などを適宜配付する。						
<b>参考文献</b>	随意紹介する。						
<b>成績評価の方法</b>	レポート課題と参加状況により評価する。						
<b>備考</b>							

<b>科目コード</b>	63130	<b>授業科目</b>	ヘルスプロモーション・健康教育Ⅱ Health Promotion and Health Education II			<b>担当教員</b>	○山崎喜比古(非常勤) 井上 洋士(非常勤)	
<b>開講年次</b>	博士後期課程 1年次後期	<b>単位数</b>	2単位	<b>科目分類</b>	選択科目	<b>授業形態</b>	講義	
<b>選択必修</b>	選択	<b>時間数</b>	30時間					
<b>授業概要</b>	疾病の有無にかかわらずヘルスプロモーション、健康教育は生涯を通して重要であるとの認識から近年の理論と実践を理解し、その上で個人、グループ、地域、国のレベルにおける今日的課題とその対策を考察し、新たな実践方法の考案あるいは理論の構築を探索する。							
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康教育とヘルスプロモーションの概念を歴史的・理論的に記述できる。</li> <li>2. 国内外で実施されているヘルスプロモーション、健康教育の現状を説明できる。</li> <li>3. ヘルスプロモーションに関連する人的・物的資源及び健康を理解できる。</li> <li>4. ヘルスプロモーションの視点から国・コミュニティ・施設・組織レベルでのアセスメントができる。</li> <li>5. 課題の分析と評価、質の高いプログラム開発や理論化ができる。</li> <li>6. ヘルスプロモーション分野で看護職としてリーダーシップが発揮できる。</li> <li>7. 健康教育・ヘルスプロモーション研究の指導ができる。</li> </ol>							
<b>回数</b>	<b>授業内容及び計画</b>						<b>担当者名</b>	
第1回	健康教育は何めざす？－健康教育とくに保健行動の理論						山崎	
第2回	健康教育からヘルスプロモーションへ、ヘルスプロモーションは何めざす？						山崎	
第3回	－エンパワメントアプローチとサルトジェニックアプローチ、「健康への力」の諸概念－ 健康生成論とストレス対処能力概念SOC						山崎	
第4回	SOCを高める介入・支援方策の開発に向けて－SOCが見えてきた!?－						山崎	
第5回	研究と研究論文そして研究者に求められるものは何か？						山崎	
第6回	介入研究・評価研究の理論と方法－慢性疾患セルフマネジメントプログラムとその評価 研究からも学ぶ－						山崎	
第7回	15年に亘る我々の薬害HIV感染生存者・家族調査研究を語る						山崎	
第8回	－ヘルスプロモーション理論の応用をみる－ 各人の研究の紹介と討論						山崎	
第9回	ヘルスケアと健康に対する患者の視点導入						井上	
第10回	健康関連 QOL とリスポンス・シフト						井上	
第11回	ヘルスプロモーションを目指す介入研究とソーシャルマーケティング						井上	
第12回	ソーシャルキャピタルと健康						井上	
第13回	薬害HIV感染生存者調査研究の概観(その1)						井上	
第14回	薬害HIV感染生存者調査研究の概観(その1)						井上	
第15回	まとめ						井上	
<b>テキスト</b>	教科書は別途指示する。							
<b>参考文献</b>								
<b>成績評価の方法</b>	評価は、出席、課題レポート、討議への参加度・理解度によって総合的に判定する。							
<b>備考</b>	集中講義方式で行う。 講義の前に、課題レポートを提出し、講義では積極的な質疑、討論を期待する。							